

会報 141号 『素敵な先輩』 インタビューを開催

日時 平成30年9月23日(日) 11時～

場所 イフレ館2階

出席者 語り手 笥進さん(87回生)

他の出席者 大野理事長 他12名

会報141号の『素敵な先輩』は、県商時代には経済的な面で苦勞をされながらも、勉學に励み、某貿易会社の仕事に就職し、その経験を生かして独立、大変な成功を収め、現在では同窓会に多大なご協力を頂いている笥進さんにインタビューさせていただきました。

聞き手 広報事業部長 西田 陽子(88回生)

1. 県商の思い出

お父様にご病氣を患われたので、勉學に励みながらもアルバイトをして、家計を支える苦学生だった笥さん。夏休みも牛乳配達を早朝からされました。貰った給料で、ラジオを購入し、『旺文社の英語講座』を聞いて、英語の勉強に力をいれられたそうです。その後、その勉強が大変役立つ場面が、多々あったそうです。

2. 思い出の先生

担任の先生はもちろん心に残っておられるそうですが、担任ではなかった先生で、木本 修身先生が心に残っておられるそうです。高校生活をうまく過ごせなかった友人を支えていた笥さん。友人の担任だった木本先生の対応が信念のある教師だと心を打たれたそうです。

2. 現在の生活

いい思い出をたくさんつくってくれた県商に、協力したいとの思いで、同窓会に多大なる支援をしてくださっています。

4. 父のことば

亡きお父様のことばで、大切にされている「人の幸せを素直に喜べる人間に」というお言葉を、紹介してくださいました。実践していくには、なかなか難しい事ですが、信条にしておられました。

5. 在校生へのメッセージ

人生は『塞翁が馬』一時的に見れば、厳しい状況も、その時ひるまずに前を見て、出来る事を精一杯していけば、必ず状況は好転していき、良い運がくる。

『昨日の我に、今日は負けるな』で、自分が成長していく事を大切にしてください。

詳細は来春発行、会報誌141号に掲載します。おたのしみに！！

